

「第1回ヨロン海洋教育フェア」



主催：与論町海洋教育推進協議会

共催：与論町教育委員会

協賛：与論ライオンズクラブ

令和2年度与論町海洋教育

14号

昨年度から与論町教育委員会では日本財団・東京大学海洋教育センター・笹川平和財団海洋政策研究所からの支援を受け海洋教育パイオニアスクールを導入しました。町内の小・中・高等学校が連携して行う「地域連携型」というスタイルで海を通じた学びの活動を行っています。与論町教育委員会を含め全国10の地域が「地域連携型」で海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加しています。

1月29日「第1回ヨロン海洋教育フェア」が開催されました。茶花小学校をメイン会場として、与論中学校、与論高等学校の生徒さん、東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター田口先生、梶川先生はオンラインで参加して下さいました。茶花小学校6年生、与論高等学校1、2年生代表者が海洋教育を通して考えたアイデアを発表しました。

小学生の発表は、来場した23名の地域サポーターさんやライオンズクラブの方々が審査員となり、コンテスト形式で行われました。ライオンズ賞を受賞したのは、「特産品開発チーム」。「特産品で与論の魅力を伝えたい」という目的で、イカやモズクを使った餃子などを考案し、レシピや栄養価なども発表しました。それ以外にも「環境保全」「特産品開発」「隠れスポット」「伝統&エコ」「海図鑑」「映像制作」など視点の違ったアイデアが発表され、どのチームも、1年間調べ、考えられた興味深い内容でした。



高校生は、小・中学生への模範発表として「ごみ問題」「未来の選択」「星空観光」の3テーマで発表しました。小・中学校、高等学校が互いの発表を見ることで、学びの共有もできたのではないのでしょうか。



今後ヨロン海洋教育フェアが、「学び」「考え」を発表する場であるとともに、「交流」「学び合いの場」となり、学びの楽しさを感じてもらえる機会へとつながってほしいと考えています。

開催にご協力頂いた皆様、ありがとうございました。また発表者の皆さん、今後の活躍も楽しみにしています。

日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

海洋教育センター
CENTER FOR OCEAN LITERACY AND EDUCATION

笹川平和財団
海洋政策研究所

<https://www.spf.org/pioneerschool/>



取材：

与論町海洋教育推進協議会事務局

取材日：2021.01.29